

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20600	
事業名	クリーンセンター運営管理費						
評価担当課	所属名	環)環境事業部 処理場管理事務					
	課長名	酒向 真一	担当者名	石塚 淳一	電話番号	011-783-5314	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	し尿プラントの安定的な稼働のため、日常の運転管理、保守点検、計画的な整備を実施する。				
		長期	収集した「し尿」を関係法令に基づき適正かつ安定的に処理する。				
	取組内容	クリーンセンター(し尿処理能力100kl/日)は、平成7年3月に竣工した処理し尿の下水道投入施設であり、し渣(し尿のごみ)を除去後、所定の希釈倍率により、手稲水再生プラザにポンプ圧送している。この施設の安定的な稼働のため、日常の運転管理、保守点検、計画的な整備を実施する。					
	実施結果	適正な施設の運転・維持管理を行った結果、支障なく「し尿」の受け入れ、処理を行うことができた。また、石狩市、当別町のし尿・浄化槽汚泥の受け入れも引き続きトラブルなく実施している。					
事業実施における工夫点	運転・維持管理委託事業者と随時コミュニケーションを取り、トラブルの兆候を迅速に察知し、運転休止などの事態とならないよう適切に対応した。						
対象者	市民・事業者・関係自治体			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例						
他都市の状況	他都市の同種事業においても、本市と同様に適正な施設の運転管理、維持管理が行われている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	173,425	199,648	156,104	180,329
うち特定財源	145,433	90,666	125,912	113,109
人工	1.0	1.0	1.0	1.0
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200
計(事業費+人件費)	180,625	206,848	163,304	187,529
事業費の内訳	令和3年度決算	光熱水費 114,869千円 委託料 38,903千円 その他 2,332千円		
	令和4年度予算	光熱水費 106,983千円 委託料 68,231千円 その他 5,115千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	し尿処理量(kL)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	26347	26060	25048	
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	し尿処理量(kL)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	26347	26060	25048	
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	受け入れた「し尿」及び「浄化槽汚泥」等は適正に処理し、石狩市・当別町の受入れし尿等も支障なく適正に処理を行った。こうしたことから、事業の目的は十分に達成されている。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	下水道普及率向上により札幌市内のし尿収集量が減少し、施設処理能力に余力が生じてきたが、石狩市、当別町のし尿を受入れ、施設・設備の有効利用を図ったことで、事業規模の適正化が図られている。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	クリーンセンター運営管理業務は、業務委託により実施していることから、積算・仕様書により、入札のたびに最適な事業体制が定期的に再構築される。こうした手法により事業の効率性は高く維持されている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	関係法令に基づいた処理が安定的かつ適正に行われていることから、受益対象者の満足度は十分に高いと思われる。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	設備機器等の老朽化が進んでおり、予防修繕的な考え方により早急に機器更新等対応していかなければ安定した施設の稼働を維持できなくなる可能性が高い。同様に、中長期の機器更新・整備計画についても早急に作成する必要がある。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	昨年度から、砂ろ過水が使用不能となり、希釈水を水道水に変更せざるを得なくなったので、投入水量の管理をより厳格にし、経費の増大を可能な限り抑えた。	見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	くみ取りし尿の受入、処理が支障なく行われ、安定稼働を維持した。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続き、安定稼働を維持する。		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 安定稼働を維持するため、老朽化した設備を予防修繕的に整備する。	見直し効果額	0 千円